

会議録

会議の名称	平成25年度西東京市立学校統合協議会（第1回会議）
開催日時	平成26年1月29日（水曜日） 午前9時30分から11時35分まで
開催場所	保谷東分庁舎 地下会議室
出席者	委員：赤松富子、片山奈穂、菅家淳子、門馬晶子、田崎吉則、中村知子、佐藤尚美、渡辺好美、真鍋五十鈴、高柳徹、野口悦子、内橋勝利、高橋宏美、保谷征男、小嶋弘、井上直美、幸内悦夫、大堀猛、高野富、諸岡 浩 事務局：櫻井勉（教育部長）、坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐(企画調整係)）、岡本範子（教育部副主幹(企画調整係)）、福井光（教育部教育企画課企画調整係主事）、中村幸雄（教育部教育企画課学務係長）
傍聴者	0人
議 題	1 開会 2 教育部長あいさつ 3 委員の依頼及び任命 4 自己紹介 5 座長・副座長の指名 6 平成25年度西東京市立学校統合協議会の運営について 7 これまでの小規模校4校に関する統廃合の検討状況等について 8 平成27年度からの通学区域について 9 その他 10 閉会
会議資料の名称	資料1 平成25年度西東京市立学校統合協議会設置要綱 資料2 平成25年度西東京市立学校統合協議会傍聴要領 資料3 平成25年度西東京市立学校統合協議会委員名簿 資料4 西東京市学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成24・25年度における小規模校4校の統廃合に関する検討経過最終報告書 資料5 学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成24・25年度における検討結果のお知らせ「住吉小学校・泉小学校・保谷小学校・本町小学校の統廃合について」 資料6 通学区域見直しについて 資料7 通学区域児童数（入学見込児童数）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

議題1 開会

議題2 教育部長あいさつ

議題3 委員の依頼及び任命

櫻井教育部長から各委員に依頼状（学校長以外）及び任命状（学校長）を交付。

議題4 自己紹介

各委員及び事務局
自己紹介。

議題5 座長の指名（副座長の指名）

「平成25年度西東京市立学校統合協議会設置要綱」に基づき、教育長から高野委員（保谷小学校長）を座長に指名。その後、高野座長から内橋委員（谷戸第二小学校学校運営連絡協議会）を副座長に指名。

議題6 平成25年度西東京市立学校統合協議会の運営について

会議録は、委員の名前を伏せた上で、発言者の発言内容ごとの要点記録とし、傍聴の取り扱いは資料2のとおりとすることに決定。

議題7 これまでの小規模校4校に関する統廃合の検討状況等について

○事務局：

資料1・資料4・資料5に基づき説明。

○座長：

資料について何か質問があるか。特にないようなので、次に進めさせていただく。

議題8 平成27年度からの通学区域について

○事務局：

資料6・資料7に基づき説明。

○座長：

資料について何か質問はあるか。

委員：

保護者に説明会を行った時はどの通学区域案を提示したのか。

事務局：

参考として1案を載せて掲載している。ただ、これで決まりではないことは報告書にも明記されている。

○座長：

それでは、通学区域を決める話し合いを行っていきたいが、これだけの大人数でもある。事務局から話し合いの方法の提案があるか。

○事務局：

大人数であるため2グループに分けさせていただいて、それぞれ御検討していただきたいが、いかがか。

○座長：

その方法で宜しいか。特にないので、そのようにさせていただく。具体的な説明を事務局より求める。

○事務局：

グループ分けが記載された名簿をお配りするので、そのように分かれて話し合いを進めていただきたい。

委員：

1～3案でどれかを選ぶものなのか。他に新たな案を出しても良いのか。

事務局：

細かい議論をしてしまうと、どうしても時間がかかってしまうので、できれば1～3案のうちどれかを選んでいただければと思う。

委員：

配布されている資料には幹線道路が記載されていないが、学校の通学区域を決めるのに幹線道路が必要と思う。

事務局：

1～3案を記載した市民マップを各グループに配布する。

○座長：

1グループは私が話を進めていくが、2グループは誰が進めていくのか。

○事務局：

統廃合の当事者校ではない谷戸第二小学校長の諸岡委員にお願いしたい。

○座長：

では、2グループは諸岡委員にお願いする。それでは、各グループ話し合いを進めていただきたい。

「グループ協議開始」

1グループ：赤松 富子、菅家 淳子、田崎 吉則、佐藤 尚美、真鍋 五十鈴、内橋 勝利、保谷 征男、小嶋 弘、幸内 悦夫、高野 富

2グループ：片山 奈穂、門馬 晶子、中村 知子、渡辺 好美、高柳 徹、野口 悦子、高橋 宏美、井上 直美、大堀 猛、諸岡 浩

※各グループに事務局職員が適宜説明や質問対応を行った。

座長：

それでは各グループから協議内容の報告をお願いします。今回は、結論を出すのではなく、事務局に報告し、再度検討してもらい、次回改めて話し合うということにしたい。それでは、1グループの報告をさせていただく。結論として1案が総意である。理由として、大きな道路を渡るのは危ない、分かりやすい区割りの方が良い、先生方の目が行き届きやすいようにシンプルが良い、安全・防災面を考えても良い、という意見があった。ただし、ひばり中の建替が同時進行しているので、それについて教えてほしい、しばらくは特例措置等何らかの受け入れ体制を設けてほしい、という意見もあった。

○委員：

2グループについて報告させていただく。2案が多かった。現在の実態にあったものが良いというのが理由である。また、2案を基に若干修正をしていただければという意見があった。しかし、細かく検討しても就学先を決めるのは親だから、分かりやすさで1案も選んだ方もいる一方、谷戸二小の教室数をふまえ今後の児童数のバランスから3案を推す方もいた。

座長：

今グループ毎に意見を出していただいたが、10分間くらいフリートーキングを行いたい。だいたい1案か2案というところだと思われる。1グループで1案以外を推さない理由は何なのか。

委員：

区切りがわかりづらい。シンプルの方が良いためである。

委員：

区域が決まってしまうと、地域住民が色々話しながら提言できるので、シンプルなのが良いと思う。

○委員：

学校選択制度はそのまま続けていくのか。

事務局：

学校選択制度には賛否両論あるが、今年度実施した3,000人対象の意識調査では6割の方が続けてほしいという意見であり、教育委員会としては今後も続けていきたいと考えている。学校選択制度の受け入れ枠の人数はその学校の学級編制がどうなるかによって毎年変わるものである。

○座長：

学校選択制度は続ける、受け入れ人数は、その年度の学校の状況によって変わるとい

うことである。

委員：

2グループで2案を出した者だが、私自身もシンプルに区域を分けたほうが分かりやすさ的には良いというのは根底にある。ただ、小学校が多くある中で、複雑になってしまうのは仕方ないという思いもある。2案とした理由は、現状と通学距離を考慮したからである。後に学校選択制度で動くとしても枠があるため、今の泉小の状況を見越して区割りをした方が良い。

委員：

各校の保護者の代表の方は、事前に他の保護者を集めて色々と会議等行ったと思うが、それらの意見をふまえて、代表としての意見を出しているという理解で宜しいのか。

○座長：

各校の重要な方たちが来ていて、それぞれ考えて発言している。

委員：

今回、検討している事項は平成27年4月の新一年生からの話であるが、在校生についての予定はないのか。

事務局：

それについてはこことは別に検討する。この場では、平成27年度以降の入学生の通学区域について話し合うので、切り離して考えていただきたい。

委員：

別の機会に話し合うのか。

事務局：

来年度になるかと思う。

委員：

谷戸二小について、少人数学級以外は全て普通教室になってしまう状況になる恐れがある。

委員：

今回の対象地域で大きなマンションの建設予定の有無があれば分かると良いと思う。

○事務局：

都市計画図の容積率から見ると、泉小のエリアについては、幹線道路の脇は容積率が緩和されている。しかし、中に入っていくと、一般の戸建て住宅が建てられるだけほとんどである。また、泉小付近の畑は戸建て住宅や低層アパートしか建たない。

○委員：

谷戸二小のバス通りのところに家が増えると影響が出ると思うが、予定はあるか。

座長：

調べられるようであれば調べていただきたい。

事務局：

都市計画課に開発の申請を出すことになっているので、その範囲内であれば調べることは可能である。

座長：

では、分かる範囲でお願いしたい。何か他に御意見等あるか。

委員：

ここに直接関係ないが谷戸二小の学童の今後はどうなのか。

座長：

中原小・ひばり中の件も含めて調べられる範囲で調べていただきたい。

委員：

この会議はあくまで学区域を決めるもので、それ以外の課題等については新たな統合協議会を設置していくということか。

事務局：

学区域以外は来年度に検討していきたい。

座長：

この統合協議会は3月までに学区域を決めるというものであると理解している。今日出た意見を基に、新たに次回事務局から提案していただく。

議題9 その他

○事務局：

アンケート用紙をお手元に配布している。今日の議論をふまえた上で、各個人がどの案が良いかアンケートをお願いしたい。また、次回会議については2月18日（火曜日）の午前10時から防災センター6階の講座室2で開催予定である。

閉会